

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成24年5月24日(2012.5.24)

【公表番号】特表2011-516478(P2011-516478A)

【公表日】平成23年5月26日(2011.5.26)

【年通号数】公開・登録公報2011-021

【出願番号】特願2011-502995(P2011-502995)

【国際特許分類】

A 6 1 K	31/7034	(2006.01)
A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 K	41/00	(2006.01)
A 6 1 K	33/24	(2006.01)
A 6 1 K	35/02	(2006.01)
A 6 1 K	33/00	(2006.01)
A 6 1 K	38/00	(2006.01)
A 6 1 K	38/28	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	37/04	(2006.01)
A 6 1 P	29/00	(2006.01)
A 6 1 P	31/04	(2006.01)
A 6 1 P	31/12	(2006.01)
A 6 1 P	31/10	(2006.01)
A 6 1 P	31/00	(2006.01)
C 07 H	9/04	(2006.01)
C 07 H	15/203	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	31/7034	
A 6 1 K	45/00	
A 6 1 K	41/00	
A 6 1 K	33/24	
A 6 1 K	35/02	
A 6 1 K	33/00	
A 6 1 K	37/02	
A 6 1 K	37/26	
A 6 1 P	43/00	1 0 5
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	37/04	
A 6 1 P	29/00	
A 6 1 P	31/04	
A 6 1 P	31/12	
A 6 1 P	31/10	
A 6 1 P	31/00	
C 07 H	9/04	
C 07 H	15/203	

【手続補正書】

【提出日】平成24年4月2日(2012.4.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

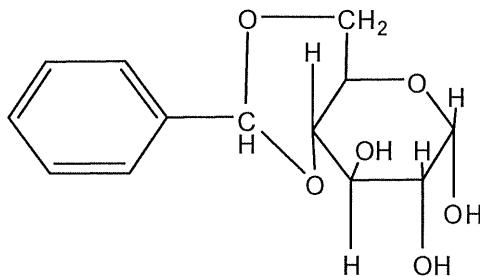
【特許請求の範囲】

【請求項1】

哺乳類対象における癌を予防または治療するための組成物であって、

前記対象に対する細胞増殖阻害に有効な量の式I：

【化6】



式I

(式中、当該グルコースは、グルコース、マンノース、ガラクトース、フルクトースから選択される 型もしくは 型のヘキソース、または2つ以上のヘキソースから生成されるビオース(ここで、前記ヘキソースは同一であっても異なっていてもよい)である)のベンズアルデヒド系または誘導体化合物、またはその薬学的に許容される塩、異性体、エナンチオマー、溶媒和物、水和物、前駆体、多形体もしくはプロドラッグを含む組成物。

【請求項2】

前記ベンズアルデヒド誘導体が4,6-O-ベンジリジン-D-グルコピラノシリオキシである、請求項1に記載の組成物。

【請求項3】

前記対象における癌を治療または予防するために、前記式Iのベンズアルデヒド誘導体化合物との組み合わせ製剤または協調治療計画において有効な二次的細胞増殖抑制剤もしくは他の補助的治療薬をさらに含む、請求項1又は2に記載の組成物。

【請求項4】

前記二次的細胞増殖抑制剤もしくは補助的治療薬が、アザシチジン、ベバシズマブ、ボルテゾミブ、カペシタビン、セツキシマブ、クロファラビン、ダサチニブ、デシタビン、ドセタキセル、エメンド、エルロチニブ塩酸塩、エキセメスタン、フルベストラント、ゲフィチニブ、ゲムシタビン塩酸塩、メシル酸イマチニブ、イミキモド、レナリドマイド、レトロゾール、ネララビン、オキサリプラチン、パクリタキセル、パクリタキセル・アルブミン安定化小粒子製剤、バリフェルミン、パニツムマブ、ペガスバルガーゼ、ペメトレキセドニナトリウム、リツキシマブ、トシリ酸ソラフェニブ、リンゴ酸スニチニブ、クエン酸タモキシフェン、タルグレチン、テモゾロミド、サリドマイド、トポテカン塩酸塩、トラスツズマブ、B-C-Gワクチン、インターロイキン-2、インターフェロン、リツキシマブ、トラスツズマブ、フィルグラスチム、G-CSF、エポエチンアルファ、エリスロポエチン、IL-11、オブレルベキン、ボリノスタット、コエンザイムQ、パラジウム-リポ酸錯体、抗新生物薬、軟骨、硫酸ヒドラジン、ミルクシスル、電解質、グルタチオン、アルカリ水、ポリMVA(登録商標)、ブドウ種子抽出物、免疫グロブリン、初乳、酸化剤およびヤドリギからなる群から選択される、請求項3に記載の組成物。

【請求項5】

前記二次的細胞増殖抑制剤もしくは補助的治療薬がポリMVAである、請求項3に記載の組成物。

【請求項6】

前記二次的細胞増殖抑制剤もしくは補助的治療薬がアルカリ水である、請求項3に記載

の組成物。

【請求項 7】

放射線療法、インスリン増強療法、ゴンザレスレジメン、食事療法、鍼治療および外科手術から選択される補助的療法と共に用いられることを特徴とする、請求項1～6に記載の組成物。

【請求項 8】

前記細胞増殖阻害に有効な量の前記式Ⅰのベンズアルデヒド誘導体化合物が、前記対象における腫瘍サイズを約10%～約90%減少させるのに有効である、請求項1～7に記載の組成物。